

応急救護所 反省会記録

- できた：○  
 できなかった：×  
 どちらでもない：△

【到達目標1】救護所設営手順（場所・位置）や物品の扱い方（発電機・ライト・無線）が役割に関係なく設営できる					
	保会	一中	二中	七中	備考
①倉庫等の開錠方法を理解し災害備品・医薬品の保管場所を確認できた	○	○	○	○	【七中】鍵BOXが劣化して開きづらい
②発電機・バルーンライト・無線等物品の扱い方を確認できた	○	○	○	○	【一中】未経験者は全員実践 【二中】発電機に使用するガスボンベは2時間程度で切れるため、それを想定し準備が必要
③災害備蓄している物品内容を確認できた	○	○	○	○	
④医薬品の保管等についての意見（保管方法、医薬品の内容等）	—	○	○	○	<p>【保会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品リストを薬剤BOXに多めに保管</li> <li>・処方用の紙を複数保管</li> <li>・薬剤処方のルール（例：痛み①痛み②）等前もって決めておく。（発熱外来を参考に）</li> <li>・処方セットと分娩セットは1階の倉庫より2階の医薬品と一緒に置いたほうがよいか。</li> </ul> <p>【二中】</p> <p>医薬品・衛生用品の保管場所が保健室と防災倉庫の2か所に分かれており、物品の把握・管理が難しい。医薬品の入っている中に衛生用品が紛れていたり、輸液バックは保健室、輸液をする際に必要な物品（サーフロー針など）は防災倉庫など保管場所に規則性がない。</p> <p>【七中】</p> <p>治療者に分かりやすいよう、薬品一覧を種類別に作成し医師も見られるよう複数用意。薬品も種類別に保管する。</p>
⑤物品について					
確認し不足していたもの	<p>【保会】 サーフロー針</p> <p>【七中】</p> <p>救急BOX内の酸素ボンベの点検期限切れ等、薬品期限切れ・期限近いものがあった。循環備蓄のシステムを検討する必要がある。コロナ禍で流通不全の薬についても考慮する必要がある。</p>				
使用できないもの	<p>【一中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新品の単三電池が液漏れ</li> <li>・ホワイトボードのキャスターが片方壊れている。</li> </ul>				

あったらよいもの	<p>【保会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち帰り用の薬袋 ・縫合セット（2セットしかないため多めに）、ガーゼ（多め）</li> <li>・服用のための飲水</li> </ul> <p>【一中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスシールド・ガウン・体温計・マスク ・処方用の袋</li> <li>・アルコール噴霧用のスプレーボトル ・断水の際の水（軽い傷を洗う、その場で内服させる）</li> <li>・紙コップ ・開放創を洗う際に汚染したものを受けるオムツ</li> <li>・台車</li> <li>・1本でも良いので点滴棒として使える棒やハンガー（1中では現実的に点滴を吊るせるような場所がない。柔剣道場はトリアージ黒の場所となってしまう。トリアージ赤は黒につながる柔剣道場の前に設置）</li> <li>・その他、現在あまり医療現場で使用しないと思われる消毒液の在庫が多く、開放創を洗える生食が少ないように感じた。</li> </ul> <p>【二中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パルスオキシメーターの台数を増やしてほしい。トリアージ用だけでなく、トリアージ結果が赤の人は常にモニタリングする必要があるため、1人1台必要。</li> </ul> <p>【七中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサーバースマスク（大人用）</li> <li>・災害情報の無線記録用紙を保管するBOX</li> <li>・薬品一覧を医師用にも複数枚用意</li> </ul>
----------	---

### 検討事項等

- ・到達目標1「救護所設営手順や物品の扱い」について、全ての参加者は概ね理解できた。
  - ・管理が必要な医薬品（催眠鎮静剤、局所麻酔薬等）があるため、全く人の目を介さない防災倉庫で保管することは難しい。物品の定位置はどの会場でも同様の規則となるよう整える必要がある。
  - ・不足しているもの・すぐ対応できる簡易なものについては、購入し各会場に設置する。
- 【検討事項】
- ・医薬品内容の見直し
  - ・約束処方は必要かもしくは可能か

### 【到達目標2】校舎の建て替えや感染予防等を踏まえ、救護所会場のレイアウトを見直し作成する。

	保会	一中	二中	七中	備考
①配置図をみながら設営できた	○	○	○	○	
②今回の訓練で配置図の変更した点	○	○	○	○	<p>【保会】 前回は行ったときのトリアージ患者の待機場所の位置を変更した。</p> <p>【一中】 アンテナ設置場所を、バスケットゴールからフェンスに変更</p> <p>【二中】 赤は搬送しやすい場所へ。黒は目立たない場所へ。</p> <p>【七中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付を機能別に2個に分けてはどうか（意識なし・移動困難者用とその他用。前者は直接トリアージエリアへ運び、付添者から状況を一度に確認し治療に繋げるため）</li> <li>・コロナ対策のため窓を開けて換気する。</li> <li>・赤黄それぞれの部屋のドアから直接外に出られるため、搬送ルートとして使える。</li> <li>・中学校教頭より提案</li> </ul> <p>①トリアージ後、赤・黄のスペースになる柔剣道場の入り口に貼った赤・黄のテープは、非常時にすぐ使えるよう、剥がさずに貼っておきます、と申し出がありそのままにした。</p> <p>②柔剣道場の左側の扉は南京錠がかかっており、使用しないつもりだったが、非常時の動線を考えると開いた方が良い。今回は、学校の鍵で開閉してもらったが、南京錠No 73を健康支援課で購入し、キーケースと一緒に保管してはどうか、と提案があった。</p> <p>③救急搬送時の救急車の入り口について、柔剣道場の道路側の扉を開ければ、道路近くから搬送できるとアドバイスをいただいた。</p> <p>無線訓練で救急搬送依頼をしたものの、到着時のことは想定していなかった。</p>

検討事項等					
・会場の变化や効果的な運営を踏まえ、応急救護所の会場レイアウトを検討できた。					
【到達目標3】 トリアージ訓練の症例を通じて、傷病者受け入れ後の一連の流れを確認する。					
	保会	一中	二中	七中	備考
① トリアージの流れが理解できた	○	○	○	○	【一中】 使いかけ（1枚目剥がれている）タグが残っており様式が違うのかと思い混乱した。 【七中】 混乱あり。トリアージカード1枚目は救護所責任者へ渡すが、2枚目（災害現場用）はどう処理したら良いか。
② トリアージを実施できた	○	○	○	○	【一中】 トリアージした紙をどこに持っていか、誰がホワイトボードに記載するかなど細かい訓練必要。
③ 各記録用紙を使用できた	○	○	○	○	【七中】 傷病者一覧に来所時間を追加するのはどうか。搬送までの時間の把握等が出来る。
検討事項					
各会場ともに、流れの詳細について混乱が見受けられた。傷病者受け入れから搬送までの流れの見直し・要点の整理が必要。					
【情報伝達・情報整理】					
	保会	一中	二中	七中	備考
① 音声通信がスムーズにできた	○	△	○	○	【保会】 関係者がしっかり聞こえるように、無線の音が診療の妨げにならない音量の調節 【一中】 混んでおり、通信できるまでに10分待った。搬送までに時間をロスしてしまう。 【二中】 近場に新しくマンションができたため、アンテナの設置場所を変更して問題なく通信できた。その後、アンテナを元の場所に戻した場合でもスムーズに通信できることを確認できた。
② 無線担当者と記録担当者の連携がスムーズにいった	○	○	○	○	
③ 随時応急救護所責任者へ報告できた	○	○	○	○	【保会】 トリアージタグ1枚目の保管場所について（受付保管が良いか）
④ ホワイトボードに必要な情報が記載できた・整理できた	×	×	○	○	【保会】 付箋などの活用、同じ情報を何度もやりとりする効率の悪さ。プリンターコピー機の活用 【一中】 最初にホワイトボード係を決めていなかった。手が空いた歯科医師が最後にまとめて書いた。 【七中】 被災状況・傷病者一覧・搬送リストをホワイトボードに記載したが、傷病者一覧・搬送リストは紙にも記載していたため、ホワイトボードには必要な情報のみピックアップして記載することが課題。搬送先等の転帰まで誰が書くのか等混乱があった。

検討事項					
情報の効率的かつ従事する者皆が確認できる流れを見直す必要がある。					
【役割】					
	保会	一中	二中	七中	備考
①各自の役割を実施できた	○	○	○	○	
②手が空いている時に、他の役割をサポートできた	○	×	○	○	【一中】ケースが少なく、あっという間に終わってしまい、あまり動くことが出来なかった人もいた。
【その他意見、反省点等】					
<p><b>【保会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすやストレッチャーなどの簡易的でも良いので準備があると良い。（移動困難者が来たときマンパワー不測が想定されるため）</li> <li>・赤色タグ患者、搬送につながる動きを優先するべきだが、処置を優先してしまい無線に連絡がいかず、搬送の要請までに時間がかかってしまった。連絡役を設定することが大切であることに気づいた。</li> <li>・患者が来た時の流れやルールなどのマニュアルがあるとよいのではないか。</li> </ul> <p><b>【一中】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は2ケースのみで実施したが、大規模災害時は受付に人が並ぶほど患者が来ることも想定される。当日に重症者も含めて捌いていくことも考えておく必要がある。例えば受付で1人のスタッフが患者名から全て聞き取り記載することは時間がかかりすぎるため、受付番号を取った後に、患者自身で記載できる人には可能な範囲で書いてもらうと良い。</li> <li>・治療が立て込んだ際に、治療補助者が医師の治療を介助しつつ、医師が次の人の治療にすぐに移れるよう、治療後の患者への声掛けや記録も行うことになるため、1人では足りない印象。自身の役割にのみ集中しがちになるため、初めから「治療補助者2名」もしくは「治療補助時の記録」等の役割を与えた方が、緊急時に処置の横で記録をタイムリー書き、その情報を責任者とホワイトボード係に伝えるなどの必要な動きが出来るのではないかと感じた。</li> <li>・万が一その場で挿管等の処置が発生した場合、誰かがつきっきりで呼吸管理、吸引、バイタルサインのチェックといった処置が搬送までの間継続的に必要となるため、いざというときには避難所にいる市民や医療関係者の有志による協力も得ることになると思われる。リヤカーで患者を搬送する際も同様。</li> <li>・それぞれのBOX（薬剤BOX）などの内容一覧表が全て1冊のファイルにまとまっているため、迅速に確認が出来ない。まとめてあるものも必要だが、それぞれのBOXの横や蓋などに、パウチしたものを張り付けておくともスムーズでは。（複数名同じ意見）</li> </ul> <p><b>【二中】</b></p> <p>■発熱者が来所した場合の対応</p> <p>⇒ ・コロナを想定するなら抗原検査キットを用意しておく必要があるのではないか。最低限PPE（個人防護具）は必須。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大を防ぐにはゾーイング※が必要だが、区切れるスペースがない。</li> <li>・発熱者は受け入れないとするか、受け入れるのであれば感染リスクについては目をつぶるしかない。</li> </ul> <p>※ゾーイング：汚染区域と清潔区域を区別すること</p> <p>■トリアージ結果が赤の人の対応</p> <p>⇒ ・早急な対応が必要な状況であるが、本部に搬送依頼すると調整に時間がかかる場合がある。2中は済生会が近いので、直接済生会と調整・搬送できるようにできないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・搬送先が決まっても、搬送方法の調整に時間がかかるなら、自力で搬送する手段も考えなければいけない。担架・ストレッチャーなどを新たに用意するのか、今あるリヤカーを使うのか。体育館にあるポール用のカゴを代替品として使うのか。実際の搬送することを想定し、リヤカー等の使い方・搬送ルートの確認が次回以降の訓練でやれるとよい。</li> <li>・トリアージ赤の人は、基本的に医師がついていないといけな状況の人。赤の人が多くなると、軽症者をみる余裕はなくなるのではないか。重症者の来所を減らすため、応急救護所は基本的に軽症者の対応をする場所であることを、市民にどう周知していくのが課題ではないか。</li> <li>・対応は医師・看護師・記録者の3人1チームで対応が必要。訓練に看護師の参加はできないか。</li> </ul>					

**【七中】**

- ・実際にはさばききれないほどの薬の処方が出るのではないか、簡単に処理できるよう約束処方を設けるのはどうか。
- ・無線通信に20分ほど待ち時間が発生していた。無線通信する内容も重要事項を優先する必要がある。（緊急を連呼する等ルールを作る）
- ・3年振りの訓練で、前回の方がスムーズだった印象があった。今後は症例数を増やした訓練を行っていく必要がある。
- ・情報をいかに共有し、優先事項とそうでないものを振分けていくかが大事。トリアージタグ等の記録も簡潔に記載できるようにする必要がある。

**検討事項**

- ・代替のもの（台車、担架作成等）で対応するという発想が必要か。また、中学校等にある物品の活用も考え把握しておくことが必要。
- ・有事の際、早期に今回の訓練程度の人員が集まることは困難であることを想定し、その時に参集したメンバーで現場の配置等を検討することが必要か。また、搬送等市民の協力を受けることは必要であり、市民へ応急救護所の役割等周知することが必要。
- ・応急救護所は全ての傷病者を受け入れ、トリアージを行い、より優先し適切な医療を提供する対象者を振り分け、必要な者は医療機関へ搬送する。また感染症状がある者に対しても、まずは応急救護所が受け入れることとなる。  
全ての対象者は感染リスクがある者とし従事者は防護し、可能な範囲の中で感染予防対策を講じることが必要であり、各応急救護所でどのレベルまで対応できるか検討することが必要である。